

現状と課題

- 高知県では、産業振興計画の推進により地域資源を活かした産業集積、外商拡大に取り組み、成果を生み出してきた。
- 他方で、近年、全国との成長格差が生じ始めており、『地域産業クラスター形成』に向けた取組がより一層重要となっている。

提 言

一次産業や防災関連産業などの地域に根差した産業の育成に向け、中長期的な視点のもと継続的な支援を実施すること。
（地方の成長投資が可能となる財政措置、生産・加工の強化への支援、8の字道路ネットワーク整備、物流拠点整備促進）

1 高知県産業振興計画の取組

本県の生産額等は、産業振興計画の取り組みを通じて、『**地産外商**』が大きく前進。かつては生産年齢人口の減少に伴い**マイナス成長であった県内総生産は概ねプラス成長**へ転じてきた。
 しかし、最近では、一人当たりの県民所得の伸び率が全国水準を下回っており、**産業振興のさらなる推進が必要**となっている。

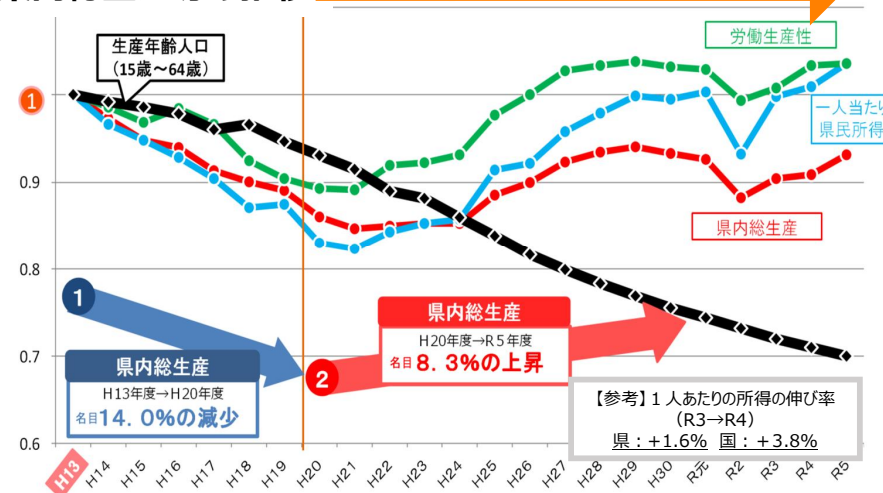
これまでの主な取組

●IoPプロジェクトなど、次世代施設園芸農業の推進

IoP…Internet of Plantsの略

●関西・大阪万博と連動した関西圏への外商拡大 など

県内総生産等の推移



2 17の戦略分野に関する取組

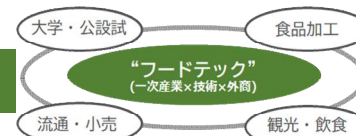
本県が特に貢献できる戦略分野は「**フードテック**」「**防災・国土強靱化**」。これまで、『弱み』を『強み』に転じる姿勢で、独自の産業を形成してきた。

農業：狭隘な土地が多い⇒先端技術活用で**野菜の生産性日本一**

防災：水害などの自然災害⇒独自技術の開発による**防災関連産業の形成**

主要なプロジェクト

フードテック

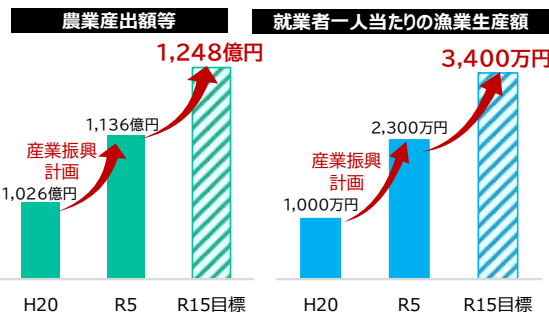


IoPプロジェクト

- データ連携基盤「SAWACHI」を核とした**データ駆動型農業**の推進
- 環境制御機能を整備した次世代型ハウス**による施設園芸農業の生産性向上
- IoPに関連する**新技術・新製品の開発促進**



“フードテッククラスター”でさらなる飛躍



マリンイノベーション

- 電子入札の導入などの**産地市場のスマート化**の推進
- IoT給餌機、自動計量システムなど**関連製品の開発と全国展開**
- 漁業者に有益な海況情報などを提供する**情報発信システム「NABRAS」**の運用と機能強化



しまんと海藻エコイノベーション

- 海藻の**陸上養殖の推進**と**機能性食品や飼料**などの研究開発

防災・国土強靱化

防災関連産業の振興

- 圧入技術による「**インプラント工法**」や「**港湾工事機械**」、「**防災機械・資材**」など、**防災関連製品・技術の開発、外商を推進**



“防災関連産業クラスター”でさらなる飛躍

